

地域学校協働連携NEWS

こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→



地域の小学生に読み聞かせ ～県立只見高等学校～

12月26日(金)、只見町冬休み子どもクラブにおける只見高校生による読み聞かせの様子取材しました。

只見高校では昨年度から、図書委員会が中心となってボランティアを募り、町内の子供たちに読み聞かせを行っているそうです。今回は、大型絵本や3年生が国語表現の授業で作成した紙芝居の読み聞かせをしたり、手遊び歌を一緒に歌ったりしていました。



<只見高校生徒の感想>

どうしたら子供たちに楽しんでもらえるか、読み聞かせをすることの難しさを知りました。将来、子供と関わる仕事に就きたいと思っているので、今の内から小さい子供との関わりに慣れておきたいです。



<只見高校生徒の感想>

練習時間が少なかったけれど、その場に応じて対応できて良かったです。思っていたよりも子供たちの反応がよく、特に作品に対して反応してくれたことが嬉しかったです。



<只見高校生徒の感想>

昨年も読み聞かせボランティアに参加して楽しかったので今回も参加しました。ボランティア活動は楽しいです。今後の進路にもつながったらいいいと思います。



<参加した小学生の感想>

初めて聞いた物語だし、自分たちで紙芝居を作っていてすごいと思いました。高校生ががんばって紙芝居を読んできたことが嬉しかったです。



高校生にとっては将来のことを考える機会に、小学生にとっては地域の先輩と関わる機会に、子ども教室にとってはプログラムの充実にと学校と地域が Win-Win の関係となっている取組でした。

昨年度は保育所の児童に読み聞かせを行ったそうですが、今年度は只見町内で冬休みに子ども教室を実施するという情報を得て、その機会に実施できないかを打診したそうです。地域の情報を得るアンテナの高さが、地域学校協働活動の充実につながっていますね。

